

筑波大学新聞

第253号

編集責任
筑波大学新聞
編集委員会
委員長 中村紀一

TEL: 029(853)2040-6699
E-mail
shinbun@sakura.cc.tsubakuba.ac.jp
月刊

発行所
筑波大学
茨城県つくば市
天王台1-1-1

業務改善が本格始動へ

組織の活性化、効率化を図る

実施計画 戦略的人事打ち出す

業務の効率化・実質化を図り、教職員の業務の質的向上を目指す業務改善推進本部(本部長 岩崎洋一学長)は、昨年12月8日に行われた第2回本部会議で、各部署や事務各部から出された具体的な施策案を基に、業務改善施策をまとめた。同案には、3年異動の見直しや職員の専門職化など、戦略的人事方針も含まれていた。3月23日に行われた第3回本部会議では実施計画を決定し、4月から本格的実行に移った。

本部に提出された具体的な施策案には、業務の効率化を図るための▽抜本的な見直しやグループウェアの導入など盛り込まれている。本部は、施策案を▽当該組織で直ちに実行可能なもの▽事前準備や条件整備が必要なものが、当該組織で完了するもの▽他の組織と協議

本部に提出された具体的な施策案には、業務の効率化を図るための▽抜本的な見直しやグループウェアの導入など盛り込まれている。本部は、施策案を▽当該組織で直ちに実行可能なもの▽事前準備や条件整備が必要なものが、当該組織で完了するもの▽他の組織と協議

本学初の海外拠点

国際的な人材を育成

北アフリカ・地中海連携センター

北アフリカ・地中海地域の大学、研究所との国際連携、先端科学技術の共有などを目的とした、本学初の海外拠点「北アフリカ・地中海連携センター」が4月1日、チュニジア共和国の首都チュニスで発足した。

北アフリカ・地中海連携センターは、本学と国際交流協定を結ぶ「カルタゴ十一日七日大学」の国立チュニジア農業学院アケセス・メタジアンに設置された。

センターは、研究教育の国際連携の推進や派遣される職員への支援、本学や日本の教育研究に関する情報提供などを行う。5月3日には現地での開所式が行われ、本学からは吉武博通副学長(総務・企画担当)ら7人が出席した。

本学では、国際連携戦略として、大学が有する教育、研究者の知的ネットワークを大学全体の戦略として活性化させる世界的「知」のネットワークを開拓し、北アフリカ、中東、中央アジア、東アジアを含む地帯を「地球文明発祥地帯」と位置づけ、同地帯の安定と発展に

アフリカは日本にとって未開拓の地域であり、乾燥地帯特有の生物資源を保有しているなど、多様な可能性を秘めており、そこに本国の科学技術との有機的な連携を目指して拠点を設置することとなった。

チュニジアと本学の間で組織的な交流が始まったのは2000年。本学と「カルタゴ十一日七日大学」との間で学術交流などを目的とした国際交流協定が結ばれ、04年には本学に北アフリカ研究センター(センター長 長 安部征雄 地縁技術・教授)が発足し、主に生物資源分野での交流が続いてきた。北アフリカ・地中海連携センターの開設にあたっては、同大内のスペースが無償で提供された。

今後は人文社会分野で交流があるウズベキスタンや、ベトナム国立図書館と協定を結んでいるベトナムなどに新たな拠点を置くことも検討している。

紙面から

「コミュニティFM局 学園祭情報など発信」
文部科学大臣表彰 本学から7人が受賞
バスケット学泉大下し日本一に
ズームアップ 本学の防犯対策
厚生事業一の矢、平砂で営業開始
ノギセンで田植え実習

11 10 10 9 5 2

特集 6,7

学類・専門学群長が薦める一冊

三特集 3

図書館 豊富な蔵書 激動の歴史も

に報告していた。規則や前例に縛られて、柔軟な対応ができていなかった」と国立大の非効率な業務処理の現状を指摘する。

だが、学生部から出された「学生証のICカード化」や「学生総合支援センター(仮称)の新設」といった他の組織との協議や経費がかかる改善案は、未だ専門委員会も発足せず、手

つかずの状態という。これに本学が変化するのか」と疑問視する職員もいる。

今後、5月中旬に各部署で調整を行い、6月に本部会議を開く予定だ。随時、新たな施策の洗い出しも行う。また、2006年3月まで1年間とされてきた推進本部の活動期間を2007年3月末までに延長する方針だ。

小柴博士、思い出語る

朝永生誕記念講演会

本学の前身である東京教育大学の学長を1956年から62年にかけて務め、65年に日本人として2人目のノーベル物理学賞受賞者となった朝永振一郎博士の生誕100年記念事業の一環として、記念講演会「時空を紡ぐ物理学」が4月29日午後2時から、つくば国際会議場(つくば市吾妻)の大ホールで行われた。会場には、約1000人の市民が訪れた。

講演会では、瀧田宏樹副学長(研究担当)の開会の辞、岩崎学長のあいさつに続いて、第一部では1995年に製作された科学技術庁長官賞を受賞した「映像評伝・朝永振一郎(制作・山陽映画、監督・野崎健輔)が上映された。これは博士の業績と生涯を、関係者の証言や映像資料によって構成したもので、日本の物理学を世界レベルにしたという志に燃える

青年時代の博士の姿が描かれている。教授たちの会議が行われている最中に、突然尖塔に登り出すなど意外な一面も紹介された。

第二部では2002年にノーベル物理学賞を受賞した小柴昌俊博士(東京大学特別栄誉教授)による講演「懐かしい朝永先生」が行



初夏の日差しの中、三味線の練習をする芸者の学生(平砂宿舎横の桜広場で)(撮影・関田航一体育専門学群)

つくば 歳時記

「桐の葉は木に朽ちんより」。大正8年、本学の前身である東京高等師範学校が、大学への昇格を目指す時期に、当時学生だった大和資雄氏によって作られた宣揚歌「桐の葉」の一節だ。▼「桐の葉」は、前身校も含め、本学の長い歴史と共に、その姿をほとんど変えることなく歌い継がれてきた。「桐の葉」は現在も多くの同窓生の間で歌われている一方で、近年の学生にはあまり浸透していないというのも事実のようだ▼現在、本学の式典の中で、「桐の葉」が歌われる機会はない。式典では、昭和51年に本学が開学して間もない頃、当時の学生によって作られた学生歌「常陸野の」が歌われる▼「何故入学式で『桐の葉』が歌われないのか。後輩に歌ってもらえないのは悲しい」。息子の入学式を見に来た本学のOBは嘆息した。宣揚歌に対する愛着を感じた▼本学の前身である東京教育大が筑波大学となってから約30年が経った。キャンパスを筑波に移した背景を考えれば、「常陸野の」を歌うことには何の異存もない。だが歴史ある「桐の葉」だ。このまま衰退の一途をたどるのは寂しい気もする▼時代は流れ、本学もまた時代と共にさまざまに変化してきた。だが、変えてはならないもの、無くしてはならないものはある。「桐の葉」は、まさにそれにあたるのではないだろうか。

筑波の孔

「桐の葉は木に朽ちんより」。大正8年、本学の前身である東京高等師範学校が、大学への昇格を目指す時期に、当時学生だった大和資雄氏によって作られた宣揚歌「桐の葉」の一節だ▼「桐の葉」は、前身校も含め、本学の長い歴史と共に、その姿をほとんど変えることなく歌い継がれてきた。「桐の葉」は現在も多くの同窓生の間で歌われている一方で、近年の学生にはあまり浸透していないというのも事実のようだ▼現在、本学の式典の中で、「桐の葉」が歌われる機会はない。式典では、昭和51年に本学が開学して間もない頃、当時の学生によって作られた学生歌「常陸野の」が歌われる▼「何故入学式で『桐の葉』が歌われないのか。後輩に歌ってもらえないのは悲しい」。息子の入学式を見に来た本学のOBは嘆息した。宣揚歌に対する愛着を感じた▼本学の前身である東京教育大が筑波大学となってから約30年

コミュニティFM局 学園祭情報などを発信

開設間近も、前途多難 資金・人不足が深刻

地域の情報発信基地を本学に「つばきFM」地域密着型コミュニティFM局を学内に開設する計画が本格的に動き出した。4月10日、ラジオ局を開設するという意思を足立和隆助教授(体育)らが関東総合通信局に報告。現在市内のどこにアンテナを設置するかなど、通信局側の審査を待っている。

設置されるFM局は出力20ワット以下の小規模なものだ。アンテナは本学で最も高い総合研究棟Bの屋上に設置し、半径20キロ以内の範囲を対象とする。送信周波数は84.2MHzを予定している。

放送される番組の企画・収録・編集の全過程は、学生団体「ラジオフリークス」が行う。学園祭などのイベント情報番組やクラシック音楽を流し、その曲の解説などを行う音楽番組、高齢者向けストレッチ番組やバリエーション番組なども企画する。災害時の緊急伝達方法にも活用する。「ラジオフリークス」の代表の馬場隆さん(比文4年)は「つばきFMの人たちにコミュニティFM局を通じて」と本学を意識してもらいたい」と期待を寄せる。

だが、問題は山積みだ。音楽の著作権問題を代行して処理する有責任中間法人日本コミュニティ放送協会に登録するには株式会社を設立しなければならない。社会貢献プロの調査費として一昨年度に80万、昨年度に70万円が本学から配分されたが、今年度は未定。「株式会社を設立・運営させていくには通常5000万の資本金が必要だ」と足立助教授は語る。スポンサーを募集しているが、有力な候補は挙がっていない。つばきFMにも協力を要したが、今のところ協力を得られていないという。また、人材不足も深刻な問題だ。

今後、株式会社と同時にNPO法人を設立し、一般企業との差別化を行う方針だが、資金と人材の確保は未だに自途が立っていない。足立助教授は「今後、広報活動にも力を入れていく」というが、「自分たちで大学と地域を活性化してやろう」という学生や教員が少なく、「苦渋の表情を浮かべ、開局までの道のりはまだ遠い」。

監査室 本学に設置 大学業務の効率性を検証

大学の監査機能を充実させるため、本学は今年3月、既存の監事、会計監査人に加えて、専任職員3人からなる監査室を設置した。監査室では、主に学内組織の業務内容や課題、中期計画の進捗状況、財務に関する情報を収集、解析し、組織に対して助言などを行う。

大学の監査機能は、これまで法人化後の大学の体制作りに入れてきたが、今後は、学生支援や教育環境の整備についても監査を行っていききたいという。

法人化前の監査は、国の機関である会計検査院が会計経理の適正化・是正や収入支出の決算の確認を行っていた。法人化後、各大学の大学運営に関する自己責任が高まり、文部科学大臣に任命された監事による業務監査と、学外者である会計監査人による会計監査が新たに義務づけられた。これまで、環境安全対策の充実や、法人化に伴う財務会計制度に関する監事が提言を行ってきた。

監査室は、監事や会計監査人と協力しながら大学業務が組織の方針に従って効率的に行われているか、客観的な立場で検証し、改

善のために助言や支援をする。不正の摘発が目的ではなく、規則自体の効率性にまで踏み込む。内部監査体制を構築して業務の誤りや不正の予防も目指す。現在、情報の収集や解析を進めており、今後、監事と共同で監査方針や計画を策定していききたい」と語った。

秋野哲也監査室長(常務銀行より出向)は「監査を通じて、本部・部局間、職員間、そして大学と学生の間の対話を深め、課題の共有を促進することで、大学の目的を達成出来るようにしていきたい」と語った。

も安くいいものを提供していきたい。買わなくても草花を見て気晴らしになれば」と話している。

本学HPを盗用 筑波学院大(つくば市吾妻)の2005年度版大学案内に、本学情報学類のホームページ(HP)に掲載されていた文章が無断で使用されていたことが4月21日、わかった。同大が本学と進めていた単位互換制度を検討する過程で判明した。同大では、今年度の大学案内やHPから利用部分を削除し3月、本学に謝罪した。今後は大学案内などを厳しくチェックし、再発防止に努めるとしている。

同大は事件発覚後、大学案内を作成した助教授を厳重注意処分にするつもりで、門脇厚司学長が本学の

瀧田 副学長 研究型大学を目指す



まず就任にあたっての抱負を。 本学は、ノーベル物理学賞受賞者である朝永振一郎先生を始め、世界に誇れる研究者を多数輩出してきている。岩崎学長を先頭に、教

育と研究を両立させながら、国際的に存在感のある研究型大学を目指したい。元先端学際領域研究センター(TARA)長として

る。岩崎学長を先頭に、教育と研究を両立させながら、国際的に存在感のある研究型大学を目指したい。元先端学際領域研究センター(TARA)長として

る。岩崎学長を先頭に、教育と研究を両立させながら、国際的に存在感のある研究型大学を目指したい。元先端学際領域研究センター(TARA)長として

新任 副学長に聞く

4月1日付で研究担当副学長に瀧田宏樹理事(物分)が、財務・施設担当副学長に元文部科学省官房審議官の泉伸一郎理事が就任した。2人の副学長に抱負や課題を聞いた。

——就任に至った経緯は。 学長からこれまでの経験や知識を請われて来るようになったと認識している。直前の仕事は、文部科学省高等教育局で国立大学の支援や大学制度全体の運用、奨学金、留学生支援といった学生サービスの行政に携わった。

——就任にあたっての抱負を。 以前の仕事と関係あるが、これからの日本の大学のあり方、国立大学のあり方について、中央教育審議

ける少数数の研究体制。学外の人の意見も取り入れ、きちんと研究が行われているかを確かめるために中間報告も行う。研究後のフォローアップもかかさず。 本学内の書類審査だけで研究資金の配分を決めていた「学内プロジェクト」より高い研究成果が期待できる。「TARAプロジェクト方式」は文系の分野にも取り入れていくつもりだ。

——産学官連携の研究支援体制についてどう考えているか。 法人化に伴い、産学官連携の研究支援体制をどう進めていく必要がある。大学側としては研究費の確保というメリットもある。企業と共に研究を進めていくことで刺激を受け、お互い向上していけると思う。

副学長 泉 教育研究の下支えを



レベルが極めて高い多くの領域がある。それらがよくなっているよう支援できればとやりがいを感じている。

——当面の重点的課題は。 国立大学は日本のこれから、割り当てられた予算の中で研究活動の質を落とさずにさらに高めることができるように、予算の配分よりよい予算の組み方を考えていく。補正予算でアスベスト関連と校舎の老朽化対策に予算が認められた。実際の工事にあたっては不便をかけるかもしれないが、それを最小限に抑えながら着実にこなしていく必要がある。

——学生へのメッセージを。 国立大学は日本のこれから、割り当てられた予算の中で研究活動の質を落とさずにさらに高めることができるように、予算の配分よりよい予算の組み方を考えていく。補正予算でアスベスト関連と校舎の老朽化対策に予算が認められた。実際の工事にあたっては不便をかけるかもしれないが、それを最小限に抑えながら着実にこなしていく必要がある。



古川俊一(ふるかわしゅんいち)システム情報工科学研究科教授、経営・政策科学専攻長、社会システム・マネジメント専攻 4月14日死去、58歳。

1978年ハーバード大学大学院都市・地域計画研究科財政・経営専攻卒。71年自治省、88年長崎県経済部長、94年自治省参事官、00年本学教授などを経て05年から現職。

図書館 豊富な蔵書 激動の歴史も

前身の東京師範学校から数える、120年を越える歴史を持つ。附属図書館(図書館長・植松貞夫)には、あまり知られていない活動も多い。普段、何気なく利用している附属図書館の隠れた魅力の一端を紹介する。(本紙・鈴木真理Ⅱ 情報専門学群)

全面開架と一極集中

特徴

内などを行う図書館ボランティアも受け入れている。98年には、京都大学附属図書館と「先導的電子図書館プロジェクト」に選ばれ、古書、大型コレクションなど資料の電子化を全国に先導している。現在、附属図書館には、約239万1600冊の図書と約2万2600種の雑誌が収蔵されている。図書館の利用証の発行を受けた地域住民は約1730人。生涯学習支援のため95年から、留学生、障害のある学生への支援や図書館の案内などを行う図書館ボランティアも受け入れている。98年には、京都大学附属図書館と「先導的電子図書館プロジェクト」に選ばれ、古書、大型コレクションなど資料の電子化を全国に先導している。現在、附属図書館には、約239万1600冊の図書と約2万2600種の雑誌が収蔵されている。図書館の利用証の発行を受けた地域住民は約1730人。生涯学習支援のため95年から、留学生、障害のある学生への支援や図書館の案内などを行う図書館ボランティアも受け入れている。

貴重図書

本学附属図書館の貴重図書には多くの貴重図書が眠っている。現在、附属図書館の蔵書約240万冊のうち8099冊を、本学では資料的・芸術的価値の高い「貴重図書」「準貴重図書」に指定している。

「大智度論」など8099冊



絵巻「絵の詫状文」(提供:附属図書館)

「大智度論」第七十巻「大智度論」は全100巻の仏教書で、「摩訶般若波羅蜜經」の注釈書だ。写経され石山寺に寄進されたうちの一部分が流出し、本巻はその中の1冊だ。全巻で2561冊ある。そのほか、1807年に、天正少年使節の一人、原マルチノの演説を、使節に随行した日本人が活版で印刷した「原マルチノの演説」や活版印刷による世界最初の印刷物として著名な「グーテンの印刷」や「逆」に仕事が増え、絵巻に感謝する職人の様子が、絵巻に擬人化して描かれている。

研究

本学附属図書館は05年5月、図書館サービスの向上や職員能力向上、図書館利用教育について研究する研究開発室(室長Ⅱ西原清一)副館長、CS・教授)を設置した。同室は、システム情報工学研究科や図書館情報メディア研究科の教員など10人で構成されている。同室はプロジェクト単位で動いている。昨年は、電子図書館としてのあり方を検討する「電子図書館の高次機能に関する研究」、専門的な図書館職員の育成について検討する「大学図書館職員の専門性と人材育成のあり方に関する研究」、図書館利用教育を検討する「図書館リテラシー教育の

サービスの向上を

中央図書館1階の貴重書展示室では、所蔵している貴重図書の実物や複製が展示されている。展示できない貴重図書の多くは、ネット上で公開している。附属図書館の棟塚富士男課長補佐は「高精細画像を公開している貴重図書もあって、ぜひ見てほしい」と話した。「図書館リテラシー教育の」が設置され、08年9月に、初めて独立した建物を持った附属図書館が完成した。新図書館は鉄筋コンクリート3階建て、書庫の収容量は約16万冊だった。その時点で蔵書数は21万4866冊だった。昭和20年には空襲の激化で、大部分を修理した。昭和24年6月の教育大の設置に伴い、図書館も同時に設置されたが、教育大附属図書館で業務を行っていた。本学での業務開始は、49年4月1日、本学に図書課が設置された時に始まった。同年7月に本学最初の図書館として体芸図書館が開館した。昭和50年に教育大から本学へ図書の移送を開始し、53年までに約70万冊の蔵書を移送した。移送図書は中央図書館の完成まで第一学群棟・第二学群棟の学生自習室や体芸図書館などに置かれた。中央図書館は54年に開館、翌年に業務を始めた。蔵書数は中央図書館の開館時点で約13万冊だった。

整理

本学附属図書館には、230万を越す蔵書がある。日々、蔵書を正しい場所に整理していかねば、蔵書を探すのは難しい。附属図書館の高い開架率を支えている。中央図書館では、シエルフリーディングを毎週木曜日から、開館前の8時半から30分程度かけて行っている。開館前の図書館を訪ね、シエルフリーディングを体験した。4月27日、時間通りにシエルフリーディングは始まった。この日、シエルフリーディングを行ったのは、4階の法律・経済に

の番号順に並んでいるように、大型本は一番上の棚に配架してあるなど細かい規則があった。図書館員たちは、手慣れた様子で、本を手際よく整理していた。

「図書室」には分類番号、著者名の頭文字、シリーズ作品の巻数が記入されている。附属図書館の岡部幸祐係長は分類の利点を「きちん」と配架されれば、目的の蔵書だけでなく、類似した内容の蔵書も手に取ることができる」と話さす。ところが、本を利用した後、正しい場所に返本しない利用者もいる。シエルフリーディングで、異なる階にあるはずの本が見つかることもある。岡部係長は「きちんと本を規定の場所に返して欲しい」と訴えた。

時代と共に発展遂げる

現在、6館からなる本学附属図書館の起源は120年前に設置された東京師範学校の図書室にある。教科書編纂の開始、戦時体制、学園紛争、そして教育大の筑波への移転―師範学校から本学まで、時に厳しい時代の中で発展を遂げてきた図書館の歴史を振り返る。

■図書館の起源
本学附属図書館は、日本で最初の学校図書館の一つといわれる。その起源は、東京師範学校(師範)に設置された図書室にまで遡る。図書室の設置には、明治5年(1882年)の背景があった。

■「図書室」から「図書館」へ
師範では、明治10年ごろ、小学校教員の初任給が5円という当時に、教科書編集事業の利益2万円を以て、書を購入し、貴重書の収集も行った。昭和4年に東京文理科大学が設置され、貴重書の収集も行った。昭和4年に東京文理科大学が設置され、貴重書の収集も行った。

■東京教育大(教育大)と学園紛争
昭和24年6月の教育大の設置に伴い、図書館も同時に設置されたが、教育大附属図書館で業務を行っていた。本学での業務開始は、49年4月1日、本学に図書課が設置された時に始まった。同年7月に本学最初の図書館として体芸図書館が開館した。昭和50年に教育大から本学へ図書の移送を開始し、53年までに約70万冊の蔵書を移送した。移送図書は中央図書館の完成まで第一学群棟・第二学群棟の学生自習室や体芸図書館などに置かれた。中央図書館は54年に開館、翌年に業務を始めた。蔵書数は中央図書館の開館時点で約13万冊だった。



開館前の図書館で黙々と本を整理する図書館職員

高い開架率を支える

本学附属図書館には、230万を越す蔵書がある。日々、蔵書を正しい場所に整理していかねば、蔵書を探すのは難しい。附属図書館の高い開架率を支えている。中央図書館では、シエルフリーディングを毎週木曜日から、開館前の8時半から30分程度かけて行っている。開館前の図書館を訪ね、シエルフリーディングを体験した。4月27日、時間通りにシエルフリーディングは始まった。この日、シエルフリーディングを行ったのは、4階の法律・経済に

反射鏡

今月のテーマ
『人暮らし』

宿舎での戦い 乱れる食生活

筑波大学(エシス1年)
私が宿舎で一人暮らしを始めてから、もう3週間以上が過ぎました。この3週間は驚きの連続で、私の経験値はとて高くなりまし

ます驚いたのは、宿舎の棟の配置の複雑さです。夜、友達の家から自分の部屋

今も必死にこの戦いの敵に耐えています。

一人暮らしをすると、やはり食生活が乱れがちになってしまいます。私は一人暮らしをしてから自然なほうで、自分は健康だと思いが、自分では健康だと思いが、自分でいっていませんでした。しかし、この間献血に行ったら、血が薄くて献血することが出来ませんでした。小・中・高の12年間皆勤賞で健康が自慢だった私には、あまりにも衝撃的な事実で、頭の中が真っ白になりました。その帰りにスーパーに行き、たくさん野菜ジュースを買いました。今、体内改造を目指して本気で頑張っています。

目標と実行力 自問自答する

丸雄脩平(体専2年)
新学期が始まって2週間が過ぎた。履修登録も終わりに講義をひとすくすく生活が始まった。しかし今年の春はあらゆる面で異なる。中学一年から海外に住んでいた私にとって去年の今頃は、6月の卒業式を控え、学問、遊戯両面で高校生活のラスト数ヶ月を満喫している真っ只中だった。そして今の環境と最も異なる点は、自分を見つめ

る。親元を離れ、それまで当たり前のように受けていた身の回りの世話も自分でこなさなくてはならない。一方、大学では受験勉強といった定まった目標もなく、専門性を高めるために各

異なる点は、自分を見つめがたみを感じました。4年間、充実した一人暮らし生活を送っていきたくて

させるにはどうすればいいか。自問自答の日々が続く。まさに単立ちを強いられるばかりの雛鳥状態だ。

現段階ではまだ絶対的な結論は出ていない。しかし色んな人と話していくうちに確信したのは、今の自分に必要なのは目標と実行力だということだ。思い悩んでも環境は変わらない。私にすればすでに大きな力だ。総合演習でトレー

ナーを目指す事と断言できなかったが、試してみたい。ことに切りをつけるのは、たまたま逃げていただけで再認識し、そこから始めることにした。「人の足を止めるのは絶望ではなく諦めである。人の足を止めるのは、希望ではなく意志である。」友人から教わったこの言葉を胸に、これからは前へ突き進んでいこう。

が「生活していくのに不可欠でないことは自然とおろそかになる」ということだ。それから数年経った今、私は毎日のようにその言葉を思い出している。

食事をするといふ生きていくための、毎日何かしら食べる。服がないと外に出られないので、洗濯もする。そのように考えると、

後回しの掃除
友人を招こう

大和田桃子(社学3年)
高校生のころ、父が突然一人暮らしについて語りだしたことがあった。内容はほとんど忘れてしまったが、一つだけ覚えているのは、ネットコミュニ

ケーションはまだビジネスチャンスも提供していることだ。(参考:一入門マルチメディア・CC-ARTS協会、2006年4月)さてあなたは、どのようなサイバースペースを自分の情報環境として選び、生活設計をしていかれるのか、SNSはそのような問いを投げかけている。

や日記を取り込むなどの複合化も起きている。サイバースペースは仮想すなわち非現実的な世界と思われているかもしれないが、現実には、従来のコミュニケーションのあり方を急速に変化させている。見逃せない

深い議論は「SNS」で ビジネスチャンスも提供

西原 清一 (C.S.教授)

インターネットの活用で、この2~3年爆発的に話題となっているのがブログである。これは個人の体験や考えを日記風に綴って公開するものであるが、一般の人が匿名で自由にこれに意見を言えるという仕組みがミソである。この匿名性のため、メルマガと違ってさまざまなキャンペーンの話題の盛り上げに有効である反面、無責任な発言で情報を混乱させてしまっている。

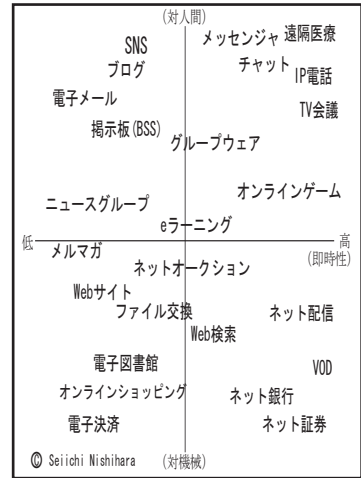
この問題を解消するものとして注目されているのがソーシャルネットワークワーキングサービス(SNS)である。考えてみると、人は日記、自分の興味に従って最新の情報を知り、自分の生活を安全かつ豊かにしようとしていたり、課外サークルなどいろいろなグループに所属したり、場面に応じて身振りや表情、そのための言葉、その最も素朴な言葉が「友達」である。それがある程度はつきりした目的を有する「グループ」となる。

SNSはそのような必要をインターネット上で

文章だけでなく画像や映像、音楽や音声などのマルチメディアでデザインされたコンテンツが飛び交っている。電子メール、ブログ、SNSなどは、このような情報インフラを利用したコミュニケーションモデルである。付図は、これらの多様なモ

デルを、即時性と人間関係の2面から分類配置してみたものである。いわば、ブログは世界に向けて思い切り叫びたい時に、一方、SNSは深い議論を親しく進めたい時に向いていると言える。両者に共通していることは、「身の回りだ

いだけでなく、メール



西原 清一 (C.S.教授)

自分の情報環境として選び、生活設計をしていかれるのか、SNSはそのような問いを投げかけている。

留学生の目



カルター・バダム・オスル

私の生まれ育ったモンゴルには、だだっ広い草原と、モンゴル相撲しかないと思われがちです。しかし実際はそうでもありません。首都ウランバートルなどは、規模は小さいですが、ごく普通の街として機能しています。「日本に来てさぞかしカルチャーショックを受けたでしょう」とよく言われますが、事前に勉強もしていましたが、さほど驚いたことはありませんでした。それでもいくつか衝撃を受けたことがあります。例えば、日本に比べて強く感じるのは「優しさ」です。最初日本に来た時、友人の家にホームステイしていたのですが、お

は割と長い。部屋にいる短い時間の中で、緊急性の高いものから順に家のことをしていき、どうしても掃除まで手が回らないことがある。時間があっても、差が、自分の意志ひとつで、なくてはならぬ。これまで気が付かなかったとだが、新しい人からの言葉と効果があるに違いない。問題があると思えば、最初に人を呼ぶまでに部屋をきれいにするのが非常に手間だということだ。

く、優しいですし、人間も優しい人が多いです。モンゴル人も優しいですが、特に日本人の場合、知っている人に対しては、もちろん、知らない人に対しても優しいと思えます。「礼儀」の文化が根

ならは本気で言います。ですから、こちらも必ず訪問しますが、日本人の場合、それをあいさつとして使っている時があります。最近では判断するために、3回くらい言われてから初めて訪問するようになっています。

他に特徴的なのが、日本人は責任感が強いということです。すごく細かいことまで、きっちりしています。ホームステイ先の友人に「来年の1月ひまか」と聞かれたのは驚きました。私など明日の予定も決まっていないうちから、どうして来年のことがわかるのでしょうか。日本人はすごく先のことを考えていて、感心することもあります。さすがに「自分のお墓を死ぬ前に買っている」というのを聞いた時には、笑ってしまいました。が、(モンゴル、大学院博士課程図書館情報メディア研究科1年)



日本人の優しさと責任感

付いているのでしょ。時々その「礼儀」が、「あいさつ」なのか本気なのかわからなくて困りますが、今は慣れました。例えば、「今度うちに遊びに来てください」と言われた場合、モンゴル人

部屋をきれいに保つ方法を発見した。定期的に友人に遊びに来てもらうのだ。一人ではなかなか、これは人が来るとなると話も別々。ずばり私だ。友人に「くらい見栄を張りたい。まだ実践はしていないが、きつと効果があるに違いない。問題があると思えば、最初に人を呼ぶまでに部屋をきれいにするのが非常に手間だということだ。

次号のテーマは「梅雨について」です

連絡先 TEL 026-836-6969 e-mail shinbun@sakurac.ac.jp

文部科学大臣表彰

本学から7人が受賞

科学技術賞に小林教授ら

タンパク質量産に成功



小林達彦教授

科学技術に関する研究開発を行い、顕著な成果を収めた研究者を顕彰する平成18年度科学技術分野の文部科学大臣表彰で、本学の生命環境科学研究科に所属する教員ら7人が3部門で受賞した。4月20日、虎ノ門パストラル(東京・港区)で表彰式が行われた。

バイオカフェ

お茶とお菓子和先端科学

小林教授らの受賞研究は「微生物の新規遺伝子発現系技術開発の研究」だった。小林教授らは、今回の研究で、放線菌遺伝子の特性を利用して、タンパク質を大量に生産できるシステムの開発に初めて成功した。酵素はタンパク質の一種で、有用酵素と呼ばれる酵素はが受賞した。同理解増進部



1978年3月20日 東京砂防会館ホールで開催された「新しい体操・松延博の世界」。観衆約1000人の中に、筑波大学3年生であった私がいた。一般的に体操は健康やシェイプアップなど何かの目的を持って身体を活動させるものである。しかし、松延博先生(東京教育大学名誉教授)は体操を「スポーツ」のひとりでないと主張する。つまり、サッ

知行一致の難しさ実感

「体操」のイメージ覆す

やかに、そしてリズムミカルに躍動し、その主張を自ら実践で表した。私にとって「体操」の堅苦しいイメージをぶち壊された記念すべき日であった。以来、今に至るま



長谷川 聖修

と。常識にとらわれず、自らの信じる道をまっすぐに突き進まれた。もう一つは「知行一致」。立派な理屈を述べることは易い、しかしながら自ら実践することは難しい。医

天上大風 かけ声交え演奏鑑賞



演奏を披露する無紋塾の学生ら(開学記念館で)

地域との交流目指す つくば芸術祭 本学24団体が参加



悪天候ながら熱い演奏が行われた(アイアイモール広場で)

「今年春と秋に行われ、伝統文化系サークルの活動紹介の場である第10回「天上大風」が4月23日、開学記念館で開催された。今回は筑波能・狂言研究会や鹿島神流武道部、書道部など6団体が参加し、演奏や展示、体験コーナーなどが行われた。当日は曇天下ながら、100人以上が訪れた。10回目の記念企画として、天上大風のこれまでの歴史を振り返る写真も展示された。



ノーム・チョムスキー と言えば、1950年代後半、言語学界に大転換をもたらす画期的な「変形生成文法の理論」を発表し、学界の権威として、そしてまた、思想家としても世界的に知られる人物である。そのチョムスキーは、一歳半から12歳にかけて、シカゴ大学附属実験学校(実験学校)に通い、教育を受けた。後年、彼は「ここで子どもたちがあらゆることに挑戦するよう励ま

教育の目的を問い直す

学校と社会

ジョン・デューイ著

理想の実現に向け、夫れ、それが普通のことであつた。生徒は自分自身で勉強し、何事も自分で考えるものとされた。実験学校におけるすばらしい体験を語って(鎌田幸雄訳「民主主義と教育」(Kato) チョムスキーが通学し、彼自身、随所で「自分の人格形成に大きな影響を与えた」と述べる実験学校は、アメリカの偉大な哲学者であり、優れた教育理論家でもあつたジョン・デューイ(John Dewey) 子どもの自発的な学習と、生活が営まれるべき場所となるべきである」と



篠原 吉徳

はせがわ・きよなお 人間総合科学研究科助教。1956年生まれ。81年本学大学院体育研究科修了。東海大助手などを経て93年から本学体育学学講師。専攻は運動方法学。

学類。専門学群長が薦める一冊

大学時代には自由な時間がたくさんある。新緑が映える五月、読書に浸ってみてはいかがだろうか。各学類・専門学群長にお薦めの一冊を紹介してもらった。

第一学群

人文 古家 信平



「日本人の死のかたち」 伝統儀礼から靖国まで(波平恵美子著、朝日新聞社、2004年、1260円) 「日本人の死のかたち」は確認されても、死体が残されたものとの関係があいまいなままに...

社会 松岡 完



「JFK——ケネディ暗殺犯を追い」(ジム・キヤリン著、岩瀬孝雄訳、早川書房、1999年、754円) 「JFK——ケネディ暗殺犯を追い」は、ケネディ大統領暗殺を単独犯によるものとする政府の見解に疑念を抱き、多くの困難や妨害に遭いながらも独自の調査で真犯人を突き止めた、告発にいたる物語です。

自然 岡本 健一



「嫌われ元素は動き者」(日本化学会編、大日本図書、1992年、1477円) 「嫌われ元素は動き者」は、化学物質が関与して問題を引き起こした世間的によく知られた元素を取り上げ、話題性もある様な気がする。嫌われ者の元素として、カレール事件の原因物質との関連で興味深い。

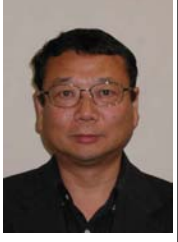
第二学群

比文 竹村 喜一郎



「カルチュラル・ターン」(吉見俊哉著、人文書院、2003年、2835円) 「カルチュラル・ターン」(文化論的展開)とは文化研究の最先端で生じている事態を指す概念である。かつて文化は既にあり、固有の内容を含んだものとみなされ、政治経済と明確に区分される部分的領域と理解されていた。だが吉見氏は、1960年代イギリスで始まったカルチュラル・

日日 江藤 秀一



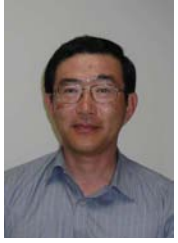
「ガリバー旅行記」(J・スウィフト著、小学館、1997年、1680円) 「ガリバー旅行記」とは、実は大人のための物語なのです。最初に漂着する小人の国のリリパットは、イングランドの帰ることに悩みます。もはや普通の人間にもモデルがいます。物語は、18世紀イングランドの政治や社会を風刺したものです。ガリバーは、巨人の国を旅し日本にも訪れ、最後は旅ではフウイヌムと呼ばれる馬の国に漂着して下さい。

人間 宮本 信也



「支店長はなぜ死んだか」(上前淳一郎著、文藝春秋、1982年) 「支店長はなぜ死んだか」(上前淳一郎著、文藝春秋、1982年) 新聞に報道された記事が、いかに事実と異なることがあるかという実例を4つあげ、報道における客観性の問題を指摘している。別の視点から見ると全く違う様相を示すことを教える。銀行の支店長が、自分で子どもを餓死させたとして、鬼のような親と報道された。

生資(代行) 星野貴行



「もしも」(石川雅之著、講談社、イブニング連載中、単行本1:2巻発売中、580円) この本は「マンガ」だ。菌が肉眼で見える青年とある農大の話だが、どこかの大学の書籍部では専門書の棚に並べられていたという「噂」もある。微生物が専門の私が聞いたことがない菌の名前が出てくる。第1巻の帯に再生紙使用、大豆インク使用など書かれていて、環境問題を意識している。菌(微生物)が我々の生存や地球環境の維持・保全にいかに関与しているかが、読み進んでいくうちに知らず知らずのうちに理解される。となればよいのだが、次に隅から隅まで菌などの解説が枠外に書かれている。読んでみると、微生物についての見方、考え方が変わるかも。本の中に「もしも」という言葉の奥の深さを読み取って欲しい。

工シス 安信 誠二



「プログラム書法」(第2版)(カーニハン、プロウガ著、木村泉訳、共立出版、1982年、3000円) この本は、文学書ではないが、プログラミングに関する基本的なマナーが述べられている。私自身、膨大なシステムのプロログラムを書き研究室で学生を指導して、初心者の戸惑いを感じる度に、読むように薦めている。書き方は存在する。こんな本もあるのだと、見ただけでも手に取って欲しい。

情報 北川 博之



「ウェブ進化論」 本場の進化はこれからはじまる(梅田望夫著、ちくま書房、2006年、777円) 昨今の情報技術の急激な進展はIT革命とも呼ばれ、人間社会のあらゆる部分も平易に書かれており、学類や専門を問わずこれらの激変の時代を生き抜いていかなければならない学生諸君に一読を薦めます。

生物 佐藤 忍



「最後の『般若心経』講義」(松原泰道著、地湧社、空(しぎてくせう)のフ

第三学群

社工 吉田 雅敏



「資本論の世界」(内田義彦著、岩波書店、1966年、735円) 1966年に出版された「資本論の世界」は、大学2年のときに私がマルクス経済学から近代経済学の勉強して成立している。により成立しているという仏教の基本思想の「建設的な面」に力点を置いて説いている。点に特徴がある。この世界観は自然科学・生物学の自然観ともマッチする。

1995年、1680円) 法事の際に耳にするお経に興味を抱き、仏教を理解してみようと初めて向き合ったのが般若心経(ほんにゃんぎきょう)だ。色即是空(しきてくせう)のフ

「資本論の世界」は、大学2年のときに私がマルクス経済学から近代経済学の勉強して成立している。により成立しているという仏教の基本思想の「建設的な面」に力点を置いて説いている。点に特徴がある。この世界観は自然科学・生物学の自然観ともマッチする。

国際 北脇 信彦



「エンジンアリング トッ モロー」(Trudy E. Bell 著、Janie Foulie 編、江崎玲奈訳、オーム社、2000年、4725円)

「鏡のなかの世界」(朝永 振一郎著、みすず書房、1965年、附屬図書館所蔵)



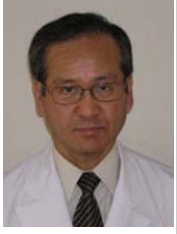
工基礎 大嶋 建一

「鏡のなかの世界」(朝永 振一郎著、みすず書房、1965年、附屬図書館所蔵)

「生・老・病・死は人間にとって避けることのできな...」

専門学群

医学 大塚 藤男



「生・老・病・死を考える...」

看護・医療科学 浦山 修



「失語の国のオペラ指揮者...」

芸術 西川 潔



「茶の本」(岡倉覚三(天心)著、種谷秀昭訳、講談社、1994年、882円)

体育 野村 良和



「健康論の誘惑」(佐藤純一著、文化書房、2000年、3990円)

図情 石井 啓豊



「社会科学をひらいた」(イ マニエル・ウォーラー...)



「鏡のなかの世界」(朝永 振一郎著、みすず書房、1965年、附屬図書館所蔵)



メタンガスのプラント (古河市)

原因となる窒素酸化物を出さないクリーンエネルギー...」

廃棄物を再利用し発電 霞ヶ浦水質浄化に貢献

「2002-2004年、茨城県は産業連携都市エリアの「霞ヶ浦水質浄化プロジェクト」を立ち上げた...」

卒業生からの手紙



筑波大生のみなさん、こんにちは。私は99年に第三学群国際総合学類に入学して04年に卒業...」



友達は一生の「宝物」 塚田理奈さん

「みなさんのつくばでの生活は、いまも思い出の宝庫です。仕事の内容と大学で...」

「出合い、中には価値観の違いから衝突したり悩んでしまったりもありません。そんな時、学生時代の友達に話を聞いてもらう...」

茗溪山脈 体育・スポーツ列伝

阿部三亥

阿部三亥は1911年(明治44年)、福島県相馬郡(現在の福島県相馬市)で、農家の三男として生まれた。「三亥」という名前はこの年が多年であること由来していると思われる。相馬中学、福島師範二部を経て、1932年に東京高等師範学校体育科に入学、ア式蹴球部に入部している。1936年には東京文理科大学心理学に入学、さらに1940年に慈恵医科大学に進学した。卒業後は高師の校医、医局主任を務め、高師教授に就任。戦後は

中筑定期戦を創設

苦難越え学問に大成

「学校体育」(日本体育社の創刊号で「体育の学問性」という一文を掲載し、技術は学問と一体として成立させるために心理学や医学が欠かせないと考えたためだった。当時、体育は学問としては認められないという。体育は「教養

利足の相関に就いて」で医学博士号を得ている。高師を卒業した後も進化したのは、体育を学問として成立させるために心理学や医学が欠かせないと考えたためだった。当時、体育は学問としては認められないという。体育は「教養

「学校体育」(日本体育社の創刊号で「体育の学問性」という一文を掲載し、技術は学問と一体として成立させるために心理学や医学が欠かせないと考えたためだった。当時、体育は学問としては認められないという。体育は「教養

日本選手権

岡崎は代表入り逃す

50、1000以下で3位入賞

水泳

今年8月のパンパシフィック大会、来年3月の世界選手権と、2つの世界大会の日本代表選考を兼ねた第82回日本選手権水泳競技大会が4月20-23日の4日間、東京辰巳国際水泳場(江東区)で行われた。本学からは27人が参加したが、惜しくも日本代表入りを果たせなかった。



岡崎晃一郎



佐藤佑樹

自由形で西尾裕樹(同一)が8位に入賞した。岡崎と佐藤は6月に欧州で開催されるユース・ヨーロッパランプリサーキット2006大会代表に選ばれた。

岡崎は出場した3種目の予選と決勝で、全6回中5回も自己ベストを更新した。得意の1000以下平泳ぎ

では、「前半から積極的に進めた」と話すように、50のターンまでに3位につけ、そのままゴールした。それでも、タイムは1分10秒5で、派遣標準記録IIに0・11秒及ばなかった。

2000以下平泳ぎ日本ランキング3位の佐藤は、パンパシフィック大会代表の有力候補だった。一周回のプ

3位と、あと一歩のところまで日本代表入りを逃した。岡崎の持ち味はスピード。スタートで出遅れても、ライバルたちを圧倒する速さで追い抜く。加えて、最近では「レース展開ができるようになった」という。象徴的だったのは2000以下平泳ぎだ。最終ターンの時点で最後尾の8位だったが、ラスト50で一気に追い上げ、5位に食い込んだ。日本代表入りは逃したが、6月には欧州でユース大会がある。「日本選手権は、悔しい思いをした。ユース大会で経験を積み、9月のインカレでは必ず優勝する」。大学王座に向けて意欲を見せた。

2000以下平泳ぎ日本ランキング3位の佐藤は、パンパシフィック大会代表の有力候補だった。一周回のプ

3位と、共に苦戦を強いられる。男子一部リーグは4月8日から駒澤屋内球技場(東京・世田谷区)などを会場に始まった。

今年度の関東学生春季リーグが4月15日から開幕し、共に惜敗した。

女子一部リーグは4月8日から駒澤屋内球技場(東京・世田谷区)などを会場に始まった。

今年度の関東学生春季リーグが4月15日から開幕し、共に惜敗した。

さらに戦後の教育改革で成立した科目である「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領

「保健体育」の指導要領



1996年高師蹴球部。右端が阿部三亥(東京教育大学サッカー部誌より)

男子バスケットボール部

バスケットで国際交流を図る トロント大と初の交流試合



東北1位の東北学院大や昨年のインカレ王者である東海大も参加し、トロント大を含む4校が対戦した。本

国際交流と選手の技術向上を目指して、「筑波大学トロント大学バスケットボール国際交流試合」が5月4-7日、総合体育館で行われた。交流試合には

国際交流と選手の技術向上を目指して、「筑波大学トロント大学バスケットボール国際交流試合」が5月4-7日、総合体育館で行われた。交流試合には

国際交流と選手の技術向上を目指して、「筑波大学トロント大学バスケットボール国際交流試合」が5月4-7日、総合体育館で行われた。交流試合には

派遣標準記録

日本水泳連盟の定めるタイムで、Iは世界ランキング8位、IIは16位相当のタイム。今大会でのパンパシフィック大会代表内定基準は、2位以内かつ3位で派遣標準記録IIを破った者。世界選手権代表内定基準は、2位以内かつ派遣標準記録Iを破った者。

派遣標準記録

派遣標準記録

派遣標準記録

派遣標準記録

派遣標準記録

派遣標準記録

派遣標準記録

派遣標準記録

派遣標準記録

全勝対決制せず

男子3位、女子2位

今年度の関東学生春季リーグが4月15日から開幕し、共に惜敗した。

今年度の関東学生春季リーグが4月15日から開幕し、共に惜敗した。

今年度の関東学生春季リーグが4月15日から開幕し、共に惜敗した。

記録ファイル

関東学生サッカーリーグ

関東学生サッカーリーグ

日本女子学生選抜大会 学泉大下し日本一に

19年ぶり2度目の優勝

櫻田が最優秀選手に

バスケット
泉大を破り、19年ぶりの2度目の優勝を果たした。昨年インカレ上位8校の新チームが頂点を競う第23回日本女子学生選抜バスケットボール大会が4月21日から23日までの3日間、国立代々木競技場第2競技場で行われた。決勝で愛知学

泉大を破り、19年ぶりの2度目の優勝を果たした。昨年インカレ上位8校の新チームが頂点を競う第23回日本女子学生選抜バスケットボール大会が4月21日から23日までの3日間、国立代々木競技場第2競技場で行われた。決勝で愛知学



3Pシュートを放つ櫻田 (4月23日、国立代々木競技場第2体育館で)

バスケット
泉大を破り、19年ぶりの2度目の優勝を果たした。昨年インカレ上位8校の新チームが頂点を競う第23回日本女子学生選抜バスケットボール大会が4月21日から23日までの3日間、国立代々木競技場第2競技場で行われた。決勝で愛知学

泉大を破り、19年ぶりの2度目の優勝を果たした。昨年インカレ上位8校の新チームが頂点を競う第23回日本女子学生選抜バスケットボール大会が4月21日から23日までの3日間、国立代々木競技場第2競技場で行われた。決勝で愛知学

柔道



平岡、法兼が準優勝

W杯代表に秋本が選出

カブ代表には、本学から秋本が選ばれた。決勝に進出した平岡は江種辰明(警視庁)と対戦した。一技にキレがなかったと語る平岡は、払い巻き込みをかけられ優勢負けを喫した。「次の大会までに技を磨いておかなければ」と語り、悔しさをにじませた。法兼は今大会、風邪などで体調を崩し思うように動けない試合が続いた。それでも決勝に進出し、河原正太(京葉ガス)と対戦した。しかしねばり強く組み分け、回戦で敗退した。ワールド

卓球

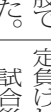


伊藤が5位で日本代表に

世界大学卓球選手権選考会

7月にスロベニアで開催される第16回世界大学卓球選手権の選考会が4月15、16の両日、大正大学体育館(東京・豊島区)で行われた。本学からは伊藤みどり(体

男子



皇后杯 杉本、3位入賞

塚田に判定負け

女子無差別級の日本一を決める皇后杯、第21回全日本女子柔道選手権大会が4月23日、東京武道館(東京・足立区)で開催された。本学からは、杉本美香(体専4年)が出場し、3位に入賞した。

女子



皇后杯 杉本、3位入賞

塚田に判定負け

女子無差別級の日本一を決める皇后杯、第21回全日本女子柔道選手権大会が4月23日、東京武道館(東京・足立区)で開催された。本学からは、杉本美香(体専4年)が出場し、3位に入賞した。

成迫、自己新で3位

世界陸上に向けて好発進

陸上



成迫健児

世界のトップアスリートが集う「国際グランプリ陸上」が5月6日、大阪長居陸上競技場で行われた。本学から、成迫健児(体専

4年)と谷川聡(体育・講師、チーム・スノアスレチック)の2人が出場した。400m障害に出場した成迫は47秒93で自己記録を更新し、3位に入賞した。日本人で47秒台を出したのは、為末大(A.P.F.)に続き2人目だった。同じく400m障害に出場した谷川は、劉昇(中国)ら強豪に力及ばず、7人中7位だった。

この日は、ライバルの為末が400mに出場したため、昨年世界陸上王者のB・ジャクソンや、同2位のJ・カーターに、成迫がどこまで迫れるかが注目された。第4レーンの成迫は、スタートから先頭に立った。しかし中盤から終盤にかけてジャクソンの猛追に屈し、3位だった。

この日は、ライバルの為末が400mに出場したため、昨年世界陸上王者のB・ジャクソンや、同2位のJ・カーターに、成迫がどこまで迫れるかが注目された。第4レーンの成迫は、スタートから先頭に立った。しかし中盤から終盤にかけてジャクソンの猛追に屈し、3位だった。

この日は、ライバルの為末が400mに出場したため、昨年世界陸上王者のB・ジャクソンや、同2位のJ・カーターに、成迫がどこまで迫れるかが注目された。第4レーンの成迫は、スタートから先頭に立った。しかし中盤から終盤にかけてジャクソンの猛追に屈し、3位だった。

この日は、ライバルの為末が400mに出場したため、昨年世界陸上王者のB・ジャクソンや、同2位のJ・カーターに、成迫がどこまで迫れるかが注目された。第4レーンの成迫は、スタートから先頭に立った。しかし中盤から終盤にかけてジャクソンの猛追に屈し、3位だった。

この日は、ライバルの為末が400mに出場したため、昨年世界陸上王者のB・ジャクソンや、同2位のJ・カーターに、成迫がどこまで迫れるかが注目された。第4レーンの成迫は、スタートから先頭に立った。しかし中盤から終盤にかけてジャクソンの猛追に屈し、3位だった。

この日は、ライバルの為末が400mに出場したため、昨年世界陸上王者のB・ジャクソンや、同2位のJ・カーターに、成迫がどこまで迫れるかが注目された。第4レーンの成迫は、スタートから先頭に立った。しかし中盤から終盤にかけてジャクソンの猛追に屈し、3位だった。

この日は、ライバルの為末が400mに出場したため、昨年世界陸上王者のB・ジャクソンや、同2位のJ・カーターに、成迫がどこまで迫れるかが注目された。第4レーンの成迫は、スタートから先頭に立った。しかし中盤から終盤にかけてジャクソンの猛追に屈し、3位だった。

この日は、ライバルの為末が400mに出場したため、昨年世界陸上王者のB・ジャクソンや、同2位のJ・カーターに、成迫がどこまで迫れるかが注目された。第4レーンの成迫は、スタートから先頭に立った。しかし中盤から終盤にかけてジャクソンの猛追に屈し、3位だった。

この日は、ライバルの為末が400mに出場したため、昨年世界陸上王者のB・ジャクソンや、同2位のJ・カーターに、成迫がどこまで迫れるかが注目された。第4レーンの成迫は、スタートから先頭に立った。しかし中盤から終盤にかけてジャクソンの猛追に屈し、3位だった。

この日は、ライバルの為末が400mに出場したため、昨年世界陸上王者のB・ジャクソンや、同2位のJ・カーターに、成迫がどこまで迫れるかが注目された。第4レーンの成迫は、スタートから先頭に立った。しかし中盤から終盤にかけてジャクソンの猛追に屈し、3位だった。



顔

硬式庭球部期待の新人 前澤かおる(体専1年)

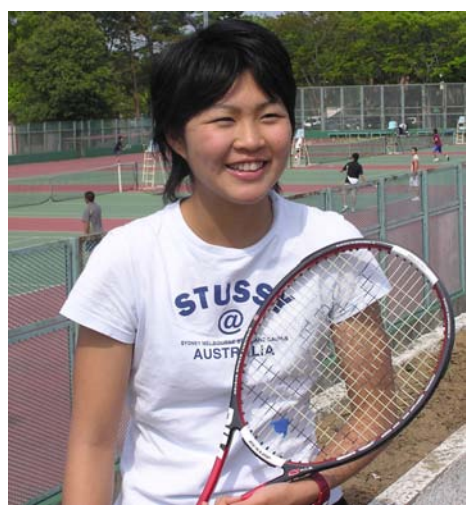
だ。テニス始めたのは小学3年の時。両親が趣味でやっていたのがきっかけとなった。小学5年の時に県大会女子シングルスで優勝。「そのころは楽しいのがメインで、強くなるという意識はなかった。中学1年の時、東京のクラブから誘いを受け、週に1度東京で練習するようになった。その2月には関東大会で優勝。「インターハイ」に出場するには群馬の方が楽。だけど、強くなるには東京」と悩んでいた結果、中学3年の時にテニスの強豪・共栄学園に転校し、下宿しながらテニスを打ち込んだ。

「自分がテニスでどこまで行けるかわからない。4年間で結果を出してプロになりたい」。昨年、全日本ジュニア選抜室内テニス選手権大会で優勝した実力を持ち、プロ入りも視野に入れる前澤かおる(体専1年)が、本学硬式庭球部に入部した。夏のインカレでタイトルを狙える期待される新星だ。

コントロールを重視したプレーで中学・高校と活躍してきた。コースを上手につき、粘り強い姿勢でボールをよく扱う。その技術を、欠点がなく、何でもできる「こなす」と山田幸雄監督(体育・教授)は評価する。前澤は群馬県出身

は、消極的な柔道をとったとして指導をとられ、そのまま優勝負けした。試合後、杉本はまたまた研究不足、組み手が課題だ」と、悔しさをかみしめた。福見は時間切れまで組み合ったが決め手に欠け、判定負けした。

は、消極的な柔道をとったとして指導をとられ、そのまま優勝負けした。試合後、杉本はまたまた研究不足、組み手が課題だ」と、悔しさをかみしめた。福見は時間切れまで組み合ったが決め手に欠け、判定負けした。



インカレ制してプロ目指す

「プロの試合を見ても、数年後にはこの場所で開催したいと感じる」という前澤。夏のインカレに向けて、プレッシャーに負けず自分らしい「プレー」で結果を狙っていく。本

は、消極的な柔道をとったとして指導をとられ、そのまま優勝負けした。試合後、杉本はまたまた研究不足、組み手が課題だ」と、悔しさをかみしめた。福見は時間切れまで組み合ったが決め手に欠け、判定負けした。

本学の防犯対策

つくばエクスプレスが昨年8月に開通し、東京とのアクセスが非常に良くなった反面、つくばでは空き巣狙いなど都市型犯罪の増加が懸念されている。そこで、本学の防犯対策や安全確保のあり方について迫った。

■本学周辺は危険
つくば市の窃盗、粗暴



文芸館では巡回を強化している

ズムアップ

指摘する。
2月上旬、人文・社会学系棟5階のソファで午後11時ごろ、30〜40歳の学生と見えない男性が寝ていたことが確認されている。第一学群警備室に務める警備員は「学内だから安全などと考えてはいけない。挙動不審

地域と連携し、防犯を

学生の意識向上が必要

多発している。
■無防備なキャンパス
「開かれた大学」という理念により門や扉がない本学では、大学構内と大学周辺の危険度に差はない。「他大学のように入り口で検問がないため、誰でも入ってしまう」と学生生活支援委員の足立和隆助教授(体育)は

追越・平砂地区を、午後6時から8時までの2時間かけて歩き、無灯火の自転車にライトを点けるように注意をするなど、防犯意識の向上を図った。昨年は毎回、教職員や警備員など約20人が参加したが、学生の参加は最高でも5人だった。パ

「地域連携——地域との安全確保等に関する連携」を始めた。昨年は2回、つくば市防犯自警団連絡協議会と会議を開いた。今後、天久保、春日地区の市民と「地域、大学合同防犯パトロール」を企画している。

■安全はあいつから
体育専門学群では4月から、不審者の侵入を防ぐため、学内ですれ違う時にお互いがコミュニケーションをとる「あいつ運動」を実施している。「防犯意識が高まればお互いあいつをするだけでも犯罪抑止効果がある」と足立助教授は話す。今後、全学的にキャンペーンを上げていくつもりだ。まずはあいつから。学生自身もさらなる防犯意識の向上が欠かせないようだ。(本紙・藤井沙織)社会学類

厚生事業

一の矢、平砂で営業開始 店内にテレビ電話を設置

昨年11月に売店業務など一任されて、売店事業に参入したホットスパ(本社)は4月20日、一



4月20日に営業を開始した一の矢売店

の矢、平砂の各地区で営業を開始した。

一の矢売店では、卵や野菜などの生鮮食品や雑誌、コミックスも販売している。酒類、たばこの販売は大学側の要望などもあり行わない。売店を利用した学生(工基礎1年)は「品揃えは一人暮らしには十分。これからも利用したい」と話した。

平砂売店では現在、生鮮食品などの販売は行っていないが、同社営業企画部の堀口悦弘部長は「平砂売店でもいずれ改装工事を行い、おにぎりやパンなどを

販売できるようにしたい」と語った。

また、5月23日から同社は各地区の店内にテレビ電話を設置し、チケットの手配などのサービスを行うことも予定している。

テレビ電話の設置は、NTTの光ケーブル回線の開通工事が遅れたため開店に間に合わなかった。開通後、サークル単位のツアーパックなど、学生のニーズに合わせたサービスを提供していく。

追越地区では、アスベスの除去工事を待って営業を開始する。堀口部長は「営業開始は学生が大学にいる夏休み明け以降になるだろう」と語った。



一日郵便局長を務める吉田さん(筑波学園郵便局)

吉田望さん(4年)一日郵便局長に 郵便局を身近に感じる

日本でも初めて郵便事業「日、筑波学園郵便局」がスタートした日を祝う第73回郵便(市吾妻)で行われ、吉田望さん(4年)が午前

8時から10時半まで、一日郵便局長として出席した。吉田さんは、式典で5分程あいさつした後、窓口で来客者にお花を渡すなど、終始笑顔で仕事をこなしていた。

筑波学園郵便局は郵政民営化を行うにあたり、少しでも地元住民に郵便局を身近に感じてもらおうと、一日郵便局長に本学生を起用した。ラトで全国的に活躍する傍ら、体育会賞を受賞し、体育会の納会代表あいさつなどをしていた吉田さんが選ばれた。

「美と芸術のマイスター」の講義は4月15日(食と緑のマイスター)の講義が行われた。

つくばインターンシップ・コンソーシアム

学生向けに説明会

就職課「希望業界受け付ける」

事概要について約20分説明を行い、学生からの質問、希望業界を受け付けた。現在受け入れている企業は申し込みがあり次第、志望学生と間でマッチングを行う。受け入れ企業は中小企業が多く、社長に話が聞けるなど全体の体が見えやすい。希望の登録はホームページからできる。

久保田専門員は「アルバイト感覚でインターンシップができる。興味のある方は希望業界に登録だけでもして欲しい」と話している。

今後説明会は5月17日、31日にIC302で、24日に207で行う。6月14日には、インターンシップの意義、マナーの説明や受け入れ企業の業界別説明会を開き、企業と学生のマッチングフェアが実施される予定だ。

アドレスは <http://tie.sec.tsukuba.ac.jp/tie/>

京都府宮津市では現在、市が配布したする妨げであり、碍は自己に対する妨げ広報誌を巡って論争が起きている。このだという。障がい者本来自体には異論はない。だが、福祉関係者の中には、言い換えをしただけで満足を得て、障害者の抱える問題は解決されたかと思ってしまう。本学では、身障者向け駐車場の確保が占拠することも少なくない。バリアフリーも進んでいる。だが、学外へ出てみると、身障者向け駐車場の上に健常者の車が居座っているし、横断歩道と歩道の間には段差がある。先月取り上げたように入り口に階段がある店舗も多い。何も問題は改善されていない。

安易な言い換えに疑問

結局、従来使われていた言葉を別のものに換えることが手軽で、視覚的に満足を得やすいのだ。差別を改善するためには、言葉ではなく他者の精神と格闘しなければならぬ。それは難しく、厳しく、得られる成果は、わずかに一歩だけの前進だ。しかしその一歩がなにより大事な。身にまとう衣装を美しくすることで、灰かぶりや王子と結ばれたのか、舞踏会地と言い換えるのが流行る。菊行だ。書は他者に対して、

「子から車椅子」な言葉である「障害者」は、「障害者」灰かぶりは王子と結ばれたのか、舞踏会地と言い換えるのが流行る。菊行だ。書は他者に対して、

「美と芸術のマイスター」の講義は4月15日(食と緑のマイスター)の講義が行われた。

開講式に学生ら47人参加

「マイスター育成講座」の講義は4月10日の午前11時から芸術学系棟B棟203号室で行われ、市民受講生、学生インターから47人が参加した。

西川潔芸術専門学群長のあいさつ後、現代GP事務局長の齊藤泰嘉教授(芸術)から、受講案内の説明があり、コース別の受講説明が行われた。

「食と緑のマイスター」の講義は4月15日(食と緑のマイスター)の講義が行われた。

「美と芸術のマイスター」の講義は4月15日(食と緑のマイスター)の講義が行われた。

「食と緑のマイスター」の講義は4月15日(食と緑のマイスター)の講義が行われた。

「食と緑のマイスター」の講義は4月15日(食と緑のマイスター)の講義が行われた。

「食と緑のマイスター」の講義は4月15日(食と緑のマイスター)の講義が行われた。

ノギセンで田植え実習

生資の学生57人参加

附属病院の病院食にも

生物資源生産科学実習の一環として4月24日、農林技術センター(センター長 餅田治之・地縁技術 教授)で田植えが行われた。実体験を通して水田の管理や米の品質、収穫調査法などを学ぶこと実施され、好天の中、57人の学生が参加した。



歩行式田植機を使用し、田植えを体験する生物資源学類の学生(農業技術センターで)

集まった学生はトレーナーにハーブパンツなどの軽装で田植えに臨んだ。始めに同センターの職員から機械操作などの説明を受け、学生3人に、職員1人が付添い、田植えを開始した。手押し車のように、歩いて押しながら苗を植える歩行式田植機を使用し、学生たちは、泥にまみれながら田植えを楽しんだ。田植えを行った水田の敷地面積はおよそ22・2アール。同センターのビニールハウスで育てられたコシヒカリの苗を植えた。9月17日と10月4日に同授業で収穫し、精米後、5キロパック2000円程度で同センターに納められる。



「問題は、全代会の活動が十分に学生に伝わっていないという問題点だ。今年度は、全代会は最新の2年間、交流会のない、安定した活動を続けてきた。現在の全代会が抱える問題点を解決しながら、より一層発展させたい。」

今年度になって初めての全学学類・専門学群代表者会議の本会議が4月26日(午後6時30分から)1D204で行われた。53人が参加した。当日は、全代会の議長・副議長を決める選挙が行われ、立候補が定員を超過し、今年度の議長に就任した小林さん(自然2年)が信任を受け、就任した。

今年度になって初めての全学学類・専門学群代表者会議の本会議が4月26日(午後6時30分から)1D204で行われた。53人が参加した。当日は、全代会の議長・副議長を決める選挙が行われ、立候補が定員を超過し、今年度の議長に就任した小林さん(自然2年)が信任を受け、就任した。



小林敬介議長



佐藤翔副議長



石崎友則副議長

全代会 議長に小林さん(エシス3年)

クラ代、大学との連携を

広報面、クラス代表者会議(クラ代)との連携の薄さ、大学との連携が不十分だったことなどが挙げられる。このように解決していくのか。

機器の設置場所を決定

学情 室内の利用状況を調査

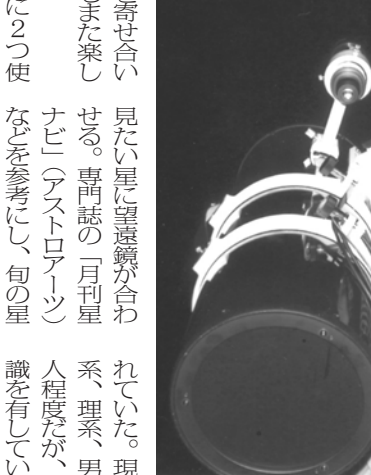
学術情報メディアセンター(学情)が今年2月から進めてきた学生宿舎、学内の無線LAN導入で、学情は、宿舎地区に22台の機器を設置し、4月17日から試験運用を開始した。4月中の利用者は1083人だった。無線LANの本格稼働は来年になる見通し。学情では試験運用期間中に学生の要望に応じて一時的に基地局を設置して受信状況を確認することもあった。今後、学内の設置場所を検討、宿舎に住む学生も二ターと協力して、宿舎内

8日に附属病院内で調印式が行われ、正式に契約が結ばれた。大学の附属病院が、同じ大学で生産した食物を病院食として患者に提供するの全国初の試みだ。

での利用状況の調査を進め、宿舎に導入されたのは、ノートPC、コーポレーション(本社「カナダ」)の「ワイヤレスメッシュネットワーク(WMN)」だ。WMNは、宿舎の屋上に設置されており、屋外でも、ネットに接続できる。アクセスポイントから50メートル程度の範囲で利用が可能で、同社の調査によると、屋外では、ほぼ宿舎地区全域に電波が届いていることがわかった。WMNは宿舎地区に23台、学内に7台、計30台の設置を予定している。すでに設置された矢張り、宿舎内

天文研究会

星の魅力。「すいすい」といって、古川智美さん(自然3年)が、星の魅力を語りだす。星を見た時の感動が忘れられない。



肩を寄せ合い、観望楽しむ

肩を寄せ合い、観望を楽しむ。星の魅力を語りだす。

「何よりも仲間と一緒にやるのが楽しく」と黒木さんは語る。観望に関係なく、土曜日の昼飯は部員全員で食べる。活動を通して、仲間との絆を深めていく。「居心地がよいく」と彼は言う。夜空を見上げたその顔は、どの星よりも輝いていた。

やどかり祭

26-28日交通規制

第32回宿舎祭(やどかり祭)の開催に伴い、5月26から28日まで、交通規制と駐車規制を行う。規制の時間、場所は次の通り。

◆通行禁止
ゆりのき通り
26日午後5時-10時
27日午前11時-午後10時半
平砂・追越宿舎内道路

◆片側通行
27日午後2時半-4時半
平砂・追越宿舎内道路
26日午後3時-10時
27日午前9時-午後10時半
◆自転車通行禁止
平砂学生宿舎地区及び一部の追越地区のペDESTリアン

26日午後5時-10時
27日午後2時半-4時半
23日午後6時-28日午前0時
仮設追越西駐車場
26日午後6時-28日午前0時
仮設西地区駐車場
26日午後6時-28日午前0時
平砂駐車場、仮設平砂西駐車場
24日午後6時-28日午後5時

27日午前11時-午後8時まで
野球場横の南駐車場を利用すること。

◆駐車禁止
平砂駐車場、仮設平砂西駐車場
24日午後6時-28日午後5時

蹴球部応援バスツアー

5月27日に開催

本学運動部を応援する、応援バスツアー(主催II体育会)が行われる。今回は蹴球部で、5月27日に対中央大学戦の応援をする。会場はJ1のジェフユナイテッド市原・千葉のホームスタジアムであるフクダ電子アリーナ。

参加には事前のチケット購入が必須。チケットは5月9日から体育棟、第一学群棟、第二、三学群棟前で販売されている。メールで申し込みも可能。

日程は、当日午前9時に野球場横の南駐車場に集合後、試合会場に移動する。試合終了後、午後4時に南駐車場に到着予定。片道の参加も可能となっている。参加費は、2000円(バス代・入場料・昼食代・飲料代込み) 問い合わせ先 tsukuba_bus_tour06@yahoo.co.jp

数々の賞を獲得、今注目のウェブデザイナー

和田 七洋さん(芸術研究科2年)

「作品を見た人が、これは和田さんの作品だと分かってくれるような作品を作りたい」と和田七洋さん(芸術研究科2年)は話す。

和田さんは現在、学生の傍ら、ウェブデザイナーとして着実な活躍を見せている。企業や洋服店のホームページ(HP)のデザイン・作成を手がけ、コンペにも多く出品する。「経済産業大臣奨励賞」や「2005文化庁メディア芸術祭審査員推薦作品賞」など多くの賞を獲得し、芸術の世界では知る人ぞ知る存在だ。

動く、楽しい作品を優先 理系で培った能力生かす

既存の分野にとらわれないのが和田さんの信条だ。何にも影響されない、自分しか出来ないような作品を心がけている。動きがあるのも和田さんの作品の特徴で、フラッシュを多用し、アニメーション感覚で楽しめるようなものが多い。フラッシュを使うと、コンピュータの動作が重くなるが、「見ていて楽しい、やっつけて楽しい」とこ

「芸術は人と違うところがプラスになる」と考える和田さんにとって、生物学部で過ごした1年間は今に繋がっていると言

「赤い玉を動かしながら、宝箱のありかを探す」というゲーム感覚の作品で、2年前に「2004アジア・デジタルアート大賞」のデジタルデザイン部門で大賞を獲得し、賞の受賞が、和田さんにとっての転機となった。

当時は、和田さんは東京のウェブデザイン会社で働いていた。日々の業務に没頭していた和田さんは「アーティストとしての可能性をまた失ってはいけない」と本学の進学を決意した。

Now Printing



「芸術は人と違うところがプラスになる」と考える和田さんにとって、生物学部で過ごした1年間は今に繋がっていると言

「赤い玉を動かしながら、宝箱のありかを探す」というゲーム感覚の作品で、2年前に「2004アジア・デジタルアート大賞」のデジタルデザイン部門で大賞を獲得し、賞の受賞が、和田さんにとっての転機となった。

当時は、和田さんは東京のウェブデザイン会社で働いていた。日々の業務に没頭していた和田さんは「アーティストとしての可能性をまた失ってはいけない」と本学の進学を決意した。

和田さんは現在、女性のHP改装を手がけている。テーマは「いかれゴージャス」。蝶やクワガタなど、あえて女性らしいモチーフを使わないようにした。デザインや構成は和田さんに一任されている。和田さんの「色」を存分に発揮したHPが完成しそった。(本紙・関田航II体育専門学群)

学園祭 参加企画の受付は 5月15日から

今年の雙峰祭は10月7日から9日までの3日間開催される。これに向け学園祭実行委員会では参加企画の募集を行う。

第1次受付は、5月15、16日の両日、午前11時から午後1時から午後4時まで、1C306教室で行う。また、Webでの受付も、5月8日から6月10日まで行う。

第2次受付は、6月8、9日の両日、第1次受付と同じ場所、時間帯で行う。10日は午後1時から午後4時まで、1C306教室で行う。また、Webでの受付も、5月8日から6月10日まで行う。

説明会のお知らせ

編集部では、新人記者募集のための説明会を開催します。5月22、29日の両日午後6時15分から編集室で行います。参加希望者は6時10分までに中央図書館前にお越しください。

本紙では、企画の立ち上げから取材、撮影、執筆、編集まで全て学生の手で行っています。取材先は、学生から学長、世界大会出場選手やノーベル賞受賞者まで、さまざま。取材範囲も本学のニュースを越えて、学生宿舎から学長室はもちろんで、スポーツ大会の開催地など全国にわたります。

マスコミに興味がある人、大学に詳しくになりたい人、有名人に会いたい人、本紙の制作に携わってみたい方をお待ちしています。

説明会以外でも毎週1回、月曜日から午後6時半から共同研究棟A104で編集会議を行っています。ぜひ、お気軽にのぞきにきてください。

問い合わせ先
029-853-6699
shinbun@sakura.ac.jp
cc.tsukuba.ac.jp

実験植物園にて、オス同士が喧嘩をしている所を捉えたもの。時にジャンプを行い、激しく争うその姿には、闘鶏を見ていたかのような印象を持たれた。大学敷地内にも多く、繁殖期には、オスがけたたましい金切り声で鳴いているのをよく耳にする。草木の茂る中に身を隠しながら地上生活をしているため、姿を見せることは少ない。日本の国鳥。(写真・文II大竹亮介、生物3年 野生動物研究会)

◇キジ◇

催事

後8時、総合研究棟D会場は午前9時-午後6時の開場時間となっている。また総合研究棟D会場は土日休館。終了日は26日となっている。入場料は無料。

◆「チャリティーコンサート」We Are The World」6月9日、つば市立中央図書館アルスホールで。午後6時半開場、午後7時開演。貧困問題に取り組む「NGOユース・エンディング・ハンガー・救済」によるチャリティーコンサート。出演者(予定)は、HOLY、森嶋千絵ほか6名。入場料は500円。

問い合わせ先
yeh_ibaraki@yahoo.co.jp

◆「議員のお仕事」院生議員から見た「政治・つくば」6月3日、午後3時から、第一学群D棟303講義室。主催II NPO法人「CAS」は支部 本学大学院生(つくば市議会議員の五十嵐立青さん(人社5年)を招いて講演会を行う。問い合わせ先
www.i-cas.org/ 同団アドレス tsukuba@i-cas.org

催事

◆本学芸術専門学群構成専攻有志展 個人・グループ展 本学芸術専門学群構成専攻の学生が有志で出展する作品展が、5月15日-28日まで行われる。会場はつくばアレスコシア「キュー」と総合研究棟D102ギヤラリーの2会場。「キュー」会場は午前10時-午後

◆筑波大学吹奏楽団第55回定期演奏会 6月3日、ノバホールで。午後3時開場、午後3時半開演。J・バーンス「パガニーニ」の主題による幻想交響曲「他」。入場料一般1500円(前売400円)、中学生以下1000円。問い合わせ先
yeh_ibaraki@yahoo.co.jp

大学会館書籍部ベストセラー

1	国家の品格 藤原正彦/新潮新書
2	ヒストリアンII エリザベス・コストヴァ/日本放送出版協会
3	ウェブ進化論 梅田望夫/ちくま新書
4	ヒストリアンI エリザベス・コストヴァ/日本放送出版協会
5	他人を見下す若者たち 遠水敏彦/講談社現代新書
6	99.9%は仮訳 竹内薫/光文社新書
7	ITの歴史 ベートル・ペックマン/ちくま新書
8	東京タワー リリー・フランキー/扶桑社
9	ゲド戦記I 影との戦い ルーグウィン/岩波書店
10	ヒルガートの心理学 内田一成/ブレーン出版

4月の1位は藤原正彦の「国家の品格」。5位は遠水敏彦の「他人を見下す若者たち」。やる気がなく、謝らず、他人を軽視し、すぐキレる若者たち。そして、根拠のない有能感に浸る若者が増えている。教育心理学の研究データが示す新しい日本人像を紹介しつつ、その変化の最も根源的な要因を追究する。

催事は、共立出版フェア(15%オフ、6月10日まで)